

2023年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

| | |
|----------|---|
| 授業科目名 | 総合演習V「組織の本質と現実」 |
| 担当教員名 | 遠藤 哲哉、丁 圏鎮 |
| 科目のテーマ | <p>現代の組織論において、官僚制度やその中で事業を運営する官僚組織の在り方は、重要な研究課題である。すなわち、官僚主義を打破し、理念志向（経営哲学）の組織戦略を実現できるかどうか、重要な研究テーマとなりえる。</p> <p>今日、新しい行政経営、NPO・NGO、ボランティア組織を含むソーシャル・エンタープライズの台頭、市民事業などの展開は、社会と組織のあり方についての本質的再検討を迫る内容を含んでいる。しかし、必ずしも組織戦略、マネジメントについて、自明ではない。特に官僚主義に陥らず、イノベーションに対応した組織戦略やリーダーシップについて理論的に検討することが求められている。</p> <p>今日、NPM（ニューパブリックマネジメント）が、行政経営の領域において一つの大きな潮流になっているが、組織のフラット化、効率化の一方で、イノベーションや地域の諸課題に十分応えうる、組織論、組織戦略論が、不可欠である。</p> <p>そこで、本科目では、近年企業経営のみならず、日本の公共政策領域においても注目を集めつつある組織理論をベースに、上述の研究課題にアプローチしていく予定である。公共経営領域では、市民協働・パートナーシップ、新しい人的資源管理の検討にも深く関係し、ソーシャル・キャピタル、実践コミュニティなどのコンセプトとも関係させながら、組織論の本質と現代的課題について明らかにしていきたい。なお、担当する丁は、H.ミンツバークの組織設計論や組織行動論についての業績があり、遠藤は、公共経営、組織戦略、地域リーダーシップ論が専門である。</p> |
| 科目内容・方法等 | <p>以下の基本文献の内、学生と協議し各担当教員毎に1冊（一部分）を読み、組織の本質、現代的課題について深い検討を加える。下記の文献を吟味する中で、特にミンツバークやホワイトヘッドの諸概念さらに地域経営、公共組織の変革について、組織の本質を問いつつ、整理される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁 圏鎮『組織設計と個人行動』文真堂、2016。 ・遠藤 哲哉『「地域経営」における価値創造：新しい自治体経営を志向して』現代図書、2019。 ・Donald W. Sherburne 'A Key to Whitehead's Process and Reality,' Macmillan Publishing Co., Inc, 1966 ・Michael Barzelay 'Breaking through Bureaucracy,' University of California Press Berkeley, 1991. ・Chester I. Barnard, 'The Functions of the Executive,' Harvard University Press, 1938 ・Tetsuya Endo (2014), "Rural Innovative Leadership: A Collaborative Strategy in Recovery Support for the Great East Japan Earthquake" <i>Proceedings of 2014 International Conference on Public Administration (10th) Volume I. Edited by ZHU Xiao-ning and ZHAO Shu-rong, pp. 236 -243.</i> <p>(参考文献)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『公益学を学ぶ人のために』世界思想社、2008。 ・村田晴夫『管理の哲学』文真堂、1984。 ・矢吹雄平『地域マーケティング論』有斐閣、2010 ・木下斉『地方創生大全』東洋経済新報社、2016 <p>演習は、参加学生が毎回基本文献を、現代的課題について（遠藤の場合）参考文献を参照しつつ読み解き、レポートを作成し、担当教官と議論するという方法で行われる。一定程度の英語読解力が求められる。</p> <p>なお演習の実施については、遠隔授業などの方法も活用しつつ時間、曜日、場所について受講する院生諸君と協議しながら進めていく。</p> |